

令和4年度第1回栗東市地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会
及び認知症初期集中支援チーム検討委員会 会議録要旨

日 時:令和4年7月28日(木)13:30~15:30

開催方法:Web形式(zoom)

出席委員:稗田委員、大槻委員、渡邊委員、市木委員、富永委員、大石委員、宮武委員、竹村委員、石原委員、
村山委員、蜂谷委員

欠席者:山本委員

傍聴者:なし

1. 開会

2. 市民憲章の唱和

3. あいさつ

4. 自己紹介

5. 会長及び副会長の選出

会長に村山委員、副会長に竹村委員就任
村山会長より挨拶

6 協議事項

(1)地域密着型サービス事業について

①地域密着型サービス事業所の運営状況(資料1)

- ・デイサービス事業所数、昨年度より1件増え、19件に。
- ・実地指導について4カ所予定。秋から冬にかけて実施する。

②第8期介護保険事業計画実績報告(資料2)

- ・要支援2、要介護3の認定者数が計画値よりも多くなっている。
- ・要介護3以上の占める割合が増加傾向。
- ・介護予防訪問リハビリテーション、介護予防特定福祉用具販売が計画値の半分程度に。
- ・介護予防居宅療養管理指導、介護予防短期入所生活介護は計画値より3割程度増えている。
- ・居宅療養管理指導、計画値より7割程度増えている。
- ・通所介護、短期入所療養介護は計画値より2割程度増えている。
- ・小規模多機能型居宅介護が計画値より2割程度減っている。啓発等により周知皆さんに知ってもらおうようにしていく。
- ・従前相当サービスの利用者が減っているが、地域包括支援センターにて必要な人には決定をしているの

で、問題はないと考える。

③地域密着型特別養護老人ホーム整備事業者の募集について(資料3)

- ・現在公募中。令和6年3月31日までに工事を完了する事業者。
- ・建設には県の補助金を活用する。

・質疑応答

委員: 資料1について、各事業所の運営状況について説明があったが、今後新たに開始する事業所や廃止になる事業所はあるか。

事務局: 現在は確認されていない。地域密着型サービスではないが、特定施設を市内に1件建設する内容で公募をし、応募が1件あった。

委員: 特定施設が建設がされると、この資料に載ってくるのか。

事務局: こちらの地域密着型サービスの表には載らない。

(2)地域包括支援センター運営について

- ①令和4年度栗東市地域包括支援センター運営方針について(資料4)
- ②令和4年度地域包括支援センター設置状況について(資料5)
- ③介護予防・介護予防ケアマネジメント委託事業所一覧について(資料6)

・質疑応答

委員: 資料6に委託料の記載があるが、南部介護サービス事業者協議会において、今年度より栗東市において介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの報酬の上乗せをすと聞いている。その取り組み状況と、それにより委託先が増えそうな状況なのか。

事務局: 介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの報酬単価が低く、居宅介護支援事業所に受託いただくことが困難な状況がある。職員の加配の際にも説明をしたが、介護予防支援等の需要が増えており、地域包括支援センターの職員を加配をして対応をしているが、地域包括支援センターの業務においては他の業務も非常に重要であり、介護予防支援等だけにかかるわけにはいかない。そういった状況で、居宅介護支援事業所において一定の割合介護予防支援等を受託していただいている場合に補助をする。この4月より補助事業を開始しており、実際の申請については4月から6月までの分について8月に申請を受け付ける。まだ、居宅介護支援事業所として補助をもらっているわけではないので実感としてはないと思われる。ただし、この加算について各居宅介護支援事業所へ説明に訪問をしている。各居宅介護支援事業所ともに趣旨を理解いただき、可能な範囲では介護支援についても受託すると回答を頂いている。

委員: 全国的にもケアマネジャーからは介護予防支援について活動の割には単価が低いと言われている。そのような中で、栗東市のこのような取組については各ケアマネジャーからは面白い取り組みだ感想を聞いていたので、気になり質問をした。

④地域包括支援センター相談業務等 統計資料について(資料7)

- ・総合相談と包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の区分についてはどちらでカウントするのが曖昧。栗東西地域包括支援センターの包括的・総合的ケアマネジメント支援業務が急増したのは、ケアマネジャー

の後方支援についてカウントできていなかったため、今後統一した対応となるよう取り組んでいく。

⑤令和3年度事業実績報告及び令和4年度事業計画について(資料8, 9)

・各包括より「高齢者虐待の相談対応」「高齢者虐待の防止・啓発」「ケアマネジャー同士のネットワークづくり」「認知症の人やその家族への支援」「個別地域ケア会議の開催」について、実績及び計画の説明。

・質疑応答

委員: 資料7虐待相談実件数について、通報受理件数なのか。虐待の認定件数なのか

事務局: 県・国に報告する認定件数ではない。地域包括支援センターにおいて1年度間で対応した虐待件数。

委員: 令和元年より令和3年まで減少傾向であるが、その要因についてはどのように分析しているか。

包括: 包括的・継続的ケアマネジメント支援において、虐待の恐れが高いケースについて予防的に対応している。今月も3件そういったケースがあった。虐待に発展しないように対応をしているのかと思う。

包括: 虐待の通報件数・虐待認定件数も非常に少ない。ケアマネジャーから相談があったときに、すぐに対応をしている。虐待の疑わしい状況も、虐待の対応に入れずに包括的・継続的ケアマネジメント支援において対応している件数が多いのかと思う。

委員: 全国的にも滋賀県においても施設虐待は減っているが、養護者による虐待については横ばいもしくは増えているなかで減少していたので質問をした。

委員: 栗東西包括の報告において、“もだま”と記載があったが、これについて説明をおねがしたい。

包括: 成年後見センターもだまのこと。成年後見制度が必要な方への相談支援を行っている機関。

委員: 資料7における相談内容について「食事に関する相談」があるが、どのような内容であり、どのように対応をされているか

包括: 食事の内容や、食事の形態について、また、配食サービス等について相談を受ける。在宅医療介護連携推進センターに相談しながら進めている。特殊食であるが、食がおいしくするためにはどうすればよいか相談が多い。

包括: 配食サービスについての相談が多い。また、病院から退院されときの食事形態、食事内容、食事摂取が確実にできるための相談が多い。

包括: 高齢者でなかなか自分では食べることができない方、栄養バランスを考えることが難しい方、糖尿病の方、腎臓機能の低下がある方の相談がある。配食サービスを紹介させてもらっている。

委員: 主には配食サービスの紹介についての対応が多いみたいであるが、いろいろなパターンがあるので専門職を活用してもらえれば。

(3) 認知症初期集中支援チームの取り組み状況について

・質疑応答

委員: もっとたくさんの対象者があると思うが家族への広報は

事務局: 地域包括支援センターには多くの相談が寄せられている。そのすべての方に初期集中支援チームの関わりが必要なわけではなく、地域包括支援センターの通常の相談でも対応している。今後ケアマネジャ

一等に周知は考えているが、市民のみなさんに初期集中支援チームの啓発をしても相談してみようにはなりにくい。できれば支援者・関係者が初期集中支援チームについて良く理解してもらい、必要の人について紹介いただければと考えている。

委員: 今の対応で十分だということになりますか

事務局: 十分とは考えておらず、また広く周知を図れば。

(4) 令和4年度栗東市地域包括支援センター運営協議会年間計画について

・質疑応答

委員: いつ頃に開催方法について決定をするか

事務局: 通常2カ月前頃には開催日を通知しているので、その際には通知できれば。

7 その他

なし

8 閉会

竹村副会長挨拶